

平成 29 年 3 月 13 日

文部科学大臣 松野 博一 殿
文部科学副大臣 義家 弘介 殿

次期学習指導要領改訂案について（要請）

教育を良くする神奈川県民の会
代表 新井 三男

次期学習指導要領改訂案について、下記の通り要請いたしますので、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

～ 記 ～

1. 要請の主旨

次期学習指導要領で、聖徳太子の呼称を「厩戸王」とするのではなく、小中学校とも「聖徳太子」で統一していただきたい。

2. 要請の理由

次期学習指導要領案での聖徳太子の呼称に関し、文科省の説明では「聖徳太子は没後使われた呼称だが、伝記などで触れる機会が多く、人物に親しむ小学校で「聖徳太子（厩戸王）」、史実を学ぶ中学校では「厩戸王（聖徳太子）」とする」としていますが、以下の理由によりこのような改訂に反対いたします。

- (1) 聖徳太子の没後現在に至るまで、千数百年にわたり日本人に親しまれ、精神的支柱となってきた「聖徳太子」の呼称を変えることには慎重であるべきです。安易な変更は、聖徳太子を常人として過小評価することになり、その傑出した事績をも否定することにつながりかねません。
- (2) 没後使われた呼称なので使えないとすれば、天皇の諡号も使えないことになり、「額田部皇女（推古天皇）」「裕仁（昭和天皇）」などと変えなければなりません。また、史実を学ぶ観点から本名を使うとすれば、「夏目金之助（夏目漱石）」「島崎春樹（島崎藤村）」など、多くの歴史上の人物の呼称を変える必要があります。聖徳太子にのみ厳格さを求めることは、明らかなダブルスタンダードであり疑問を抱かざるを得ません。
- (3) 人物に親しむ小学校では「聖徳太子（厩戸王）」、史実を学ぶ中学校では「厩戸王（聖徳太子）」という区別は分かりにくく、小学校と中学校で呼称が異なることは、無用な誤解や混乱を招く原因になりかねません。

以上の通り、日本人が長年にわたり親しんできた「聖徳太子」という呼称の重みを受け止め、小・中学校とも「聖徳太子」で統一するように要請いたします。

以上